

諫 早 市 道 路 維 持 修 繕 計 画

（ 2 0 2 5 年 度 ～ 2 0 2 9 年 度 ）

【小規模附属物編】

（ カ ー ブ ミ ラ ー ）

令和 7 年 3 月

諫早市

1. 施設の現状

小規模附属物（カーブミラー）

小規模附属物（カーブミラー）は主に自動車等に関わる交通事故の抑止を目的として、見通しの悪い交差点や視距の確保が難しいカーブ等に設置しています。本市が管理している小規模附属物（カーブミラー）は約 3,200 基あります。



2. 管理手法

管理手法は、「予防保全型」、「機能保全型」、「定期更新型」、「対症療法型」の4つの分類を継続します。

表 2.1 管理手法分類

管理手法		解説
計画的な維持管理	予防保全型	定期的な点検等により施設状態を把握し、損傷程度が 予防保全の観点から 措置を講ずることが望ましい段階 で計画的に対策を実施し、常に一定の健全度を保持する。
	機能保全型	定期的な点検等により施設状態を把握し、損傷程度が 早期に措置を講ずべき段階 で対策を実施する。
	定期更新型	定期的な点検等により施設状態を把握し、施設の機能・安全性を確保する前提で、設定した 耐用年数 によって対策を実施する。
対症療法型		道路パトロールや陳情により施設状態を把握し、損傷程度が 緊急に措置を講ずべき段階 で必要な対策を実施する。

3. 対象施設の管理手法・管理方針

3.1 小規模附属物の管理手法

小規模附属物（カーブミラー）は、機能保全型の管理手法とします。

3.2 老朽化対策における基本方針

（１）管理区分

小規模附属物（カーブミラー）は、歩行者や車両の状況を知らせることが目的であり、大型標識と比較して規模が小さいですが、倒壊・落下した場合の第三者被害への影響が想定されることから、全ての小規模附属物（カーブミラー）を同一の管理区分とします。

表 3.1 管理区分

管理手法	管理区分
定期更新型	—
予防保全型	—
機能保全型	全施設
対症療法型	—

（２）管理指標

「附属物（標識、照明施設等）点検要領（平成 31 年 3 月、国土交通省道路局）」にて 4 段階の健全性の判定区分で診断されており、これを管理指標とします。

表 3.2 管理指標

区分		状態
I	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態。
II	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

(3) 管理水準

小規模附属物は機能保全型で管理するため、管理水準は早期措置段階である健全性Ⅲとし、健全性Ⅱ以上の維持を目指します。

表 3.3 管理手法、管理区分、管理指標、管理水準の関係

管理手法	管理区分	管理指標		
		健全性の判定区分		目標とする健全性・区分
—		Ⅰ	健全	
予防保全型		Ⅱ	予防保全段階	
機能保全型	全施設	Ⅲ	早期措置段階	管理水準
対症療法型		Ⅳ	緊急措置段階	

(4) 優先順位

小規模附属物（カーブミラー）は、歩行者や車両の状況を知らせることが目的であり、大型標識と比較して規模は小さいですが、倒壊・落下した場合の第三者被害への影響が想定されることから、施設の重要度は全施設同一としながらも、各部材の特性を考慮し、健全性及び健全度、損傷の状態から対策の優先順位を判断し、適切に修繕を実施することとします。

4. 実施プログラム

(1) 計画期間

実施プログラムの計画期間は、維持修繕計画の第1期として、2025年度（令和7年度）から令和2029年度（令和11年度）の5年間を対象とします。

(2) 点検計画

3年に1回、本市職員が近接目視による定期点検を実施します。

(3) 実施プログラム

2025年度（令和7年度）から2029年度（令和11年度）の5ヵ年における小規模附属物（カーブミラー）の実施プログラムは次のとおりです。なお施設の劣化状況等により、施工時期が変更になる場合があります。

【 カーブミラー 】

対策に係る全体概算事業費 30,000 千円

表 4.1 年度別計画表（単位：千円）

地域名	(R6)	R7	R8	R9	R10	R11	計
旧諫早	定期点検	13,300 (141 箇所)	—	定期点検	5,000 (50 箇所)	—	18,300 (191 箇所)
多良見		300 (3 箇所)	—		1,000 (10 箇所)	—	1,300 (13 箇所)
森山		1,400 (14 箇所)	—		1,000 (10 箇所)	—	2,400 (24 箇所)
飯盛		2,700 (29 箇所)	—		1,000 (10 箇所)	—	3,700 (39 箇所)
高来		1,100 (11 箇所)	—		1,000 (10 箇所)	—	2,100 (21 箇所)
小長井		1,200 (12 箇所)	—		1,000 (10 箇所)	—	2,200 (22 箇所)
計		20,000 (210 箇所)	—		10,000 (100 箇所)	—	30,000 (310 箇所)